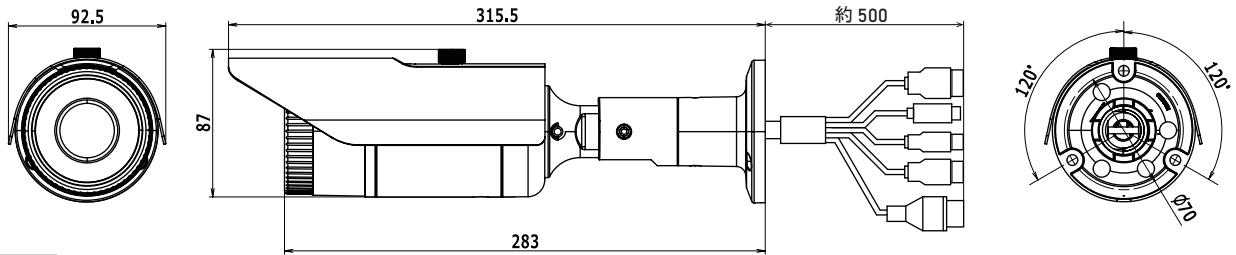


機種名 VN-H158WPR

表記なき単位: mm

寸法図

- ・パンの可動範囲:  $\pm 175^\circ$
- ・チルトの可動範囲:  $0^\circ \sim 90^\circ$
- ・ローテーション範囲:  $\pm 95^\circ$



規格

本機質量	約835g
------	-------

施工例1

設置面に直付けする場合

使用材料

名称	仕様	数量
取付ねじ	ステンレス製ねじ M4 (使用アンカーに適した長さのねじ) (付属していません)	3
落下防止ワイヤー	ステンレス製(付属していません)	1

- ※1. 風速60 m/s 対応。(アンカー引き抜き荷重500N以上)
- ※2. 設置環境、施工材料により最適な固定方法を選択すること。
- ※3. アンカー(おねじタイプ)は使用不可。

<施工手順>

1. テンプレート(付属)を使用し、アンカーに対応した孔を3箇所あけ、アンカーを挿入する。
2. 必要に応じて、ケーブル通線孔(直径30mm程度)をあける。ケーブル通線孔をあけない場合は、ケーブル通路を使用する。
3. 取扱説明書(設置編)の指示に従い、本機を取り付ける。

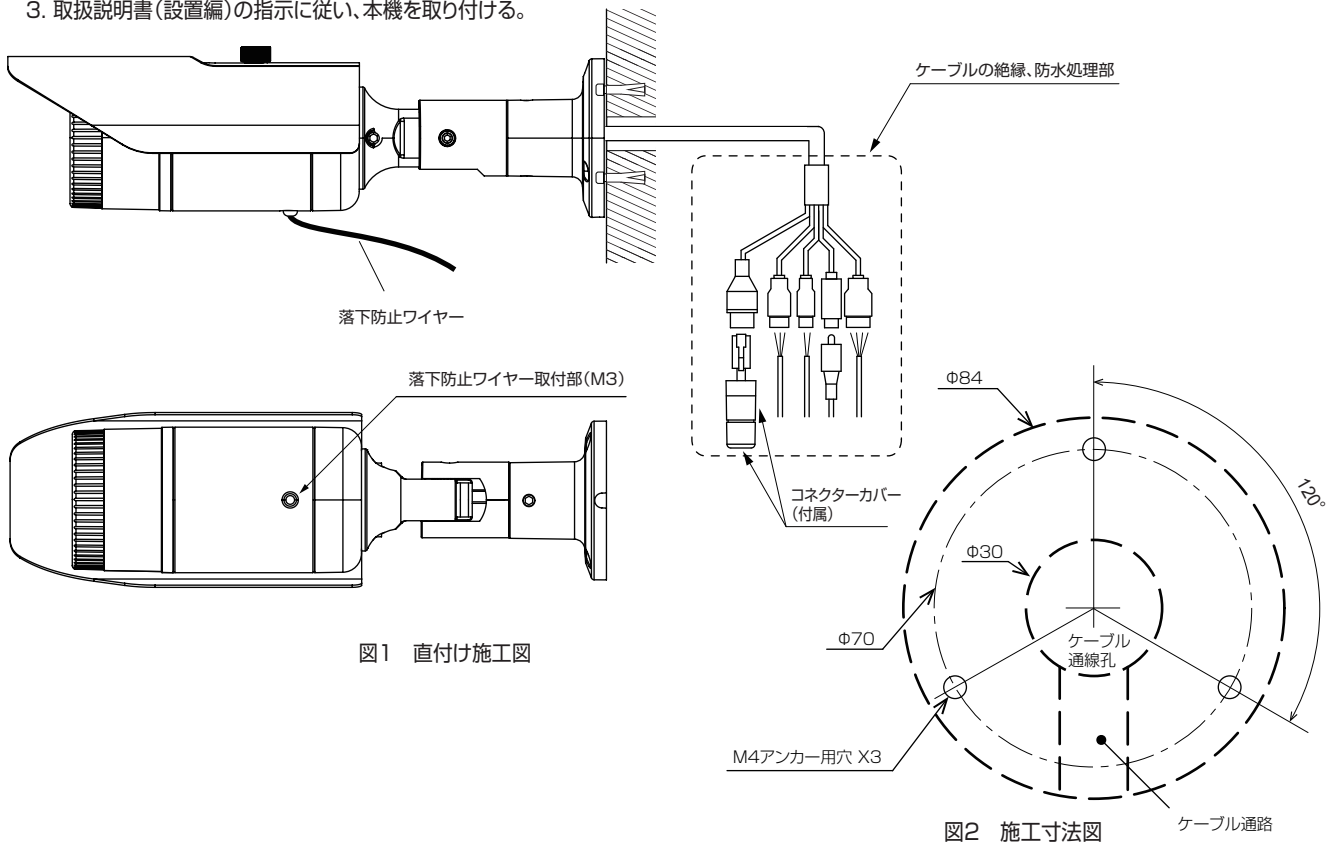


図1 直付け施工図

図2 施工寸法図

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-095-D12-01	-	ハウジング一体型HDネットワークカメラ施工基準書	Sheet 2/4

機種名 VN-H158WPR

表記なき単位: mm

### 注意事項

- 取付面の強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保出来ること。強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
- 取付けねじの強度は、1本で総質量の10倍に耐えられる材質(ステンレス製)を選択すること。
- アンカーはステンレス製を使用すること。アンカーは引き抜き荷重500N以上(風速60m/s対応)を推奨とする。
- ケーブル類は、確実に防水処理を施すこと。(図1)  
配線部分(図1点線部)は、絶縁テープにて絶縁処理を行うとともに、防水処理を確実にすること。(防水対応ではありません。) また、ケーブル接続部が雨水にて水没しないよう考慮し施工すること。  
防水処理例…自己融着テープを端子接続部分に巻きつける。自己融着テープにより接触不良の恐れがあるので、LANコネクタ一部は必ず付属のコネクタカバーを使用し、その上から自己融着テープを巻き付けること。使用しない端子も必ず防水処理をすること。
- 落下防止ワイヤー(付属していません。ステンレスワイヤー使用)は一方を壁や天井に、もう一方を付属のねじを使用してカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部に接続すること。(図1) 落下を防止するため、本機の質量に十分耐えられる強度(総質量の10倍以上)のある落下防止ワイヤーで天井構造物などに取り付けること。また、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁すること。
- ケーブル通路を上に向け施工しないこと。
- ケーブル通路を横にした場合は、ケーブルをU字にたわませるなどケーブルを伝って雨水が入らないよう施工すること。
- 取扱説明書(設置編)に従い、除湿剤(シリカゲル)をカメラ内に取り付けること。
- 本機と接続するLANコネクタの寸法は全長24mm以下とすること。(図3)  
LANコネクタの寸法が長くなると、防水用のコネクタカバーが取り付けできません。  
(コネクタカバーを使用する場合は、コネクタカバーにLANケーブルを通してから、LANコネクタをかきしめる必要があります。)  
指定サイズより大きいLANコネクタを使用する場合は、ビニール袋で養生する等、防水対策を施すこと。
- フロントカバーを取り付ける際は、ゴム手袋をしてマーキングラベルが一致するまで強く締め付けること。(図4)
- カメラ本体は、本書および取扱説明書(設置編)に定める施工が正しく行われ適切な防水処理が施された場合にのみ防水(IP66)性能が維持できます。

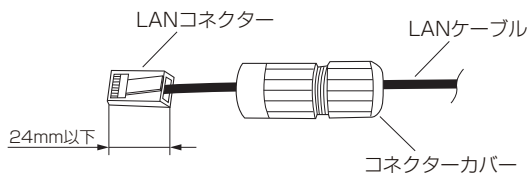


図3 LAN コネクタ寸法

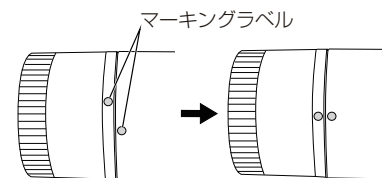


図4 フロントカバー マーキングラベル

機種名 VN-H158WPR

表記なき単位: mm

**施工例2**

電気ボックス(付属していません)を使用し取り付ける場合  
(Panasonic製スイッチボックスDS4912対応)

**使用材料**

名称	仕様	数量
取付ねじ	ステンレス製ねじ M4 x 10 mm 以上 (付属していません)	7
落下防止ワイヤー	ステンレス製(付属していません)	1

**<施工手順>**

1. 添付のアダプタープレートにM4ねじ4本で電気ボックスに取り付ける。
2. カメラをM4ねじ3本でアダプタープレートに取り付ける。
3. 電気ボックスの外形寸法で壁や天井に孔を開けた場合は、電気ボックスが見えないよう化粧板で隠す等して施工することをお勧めします。

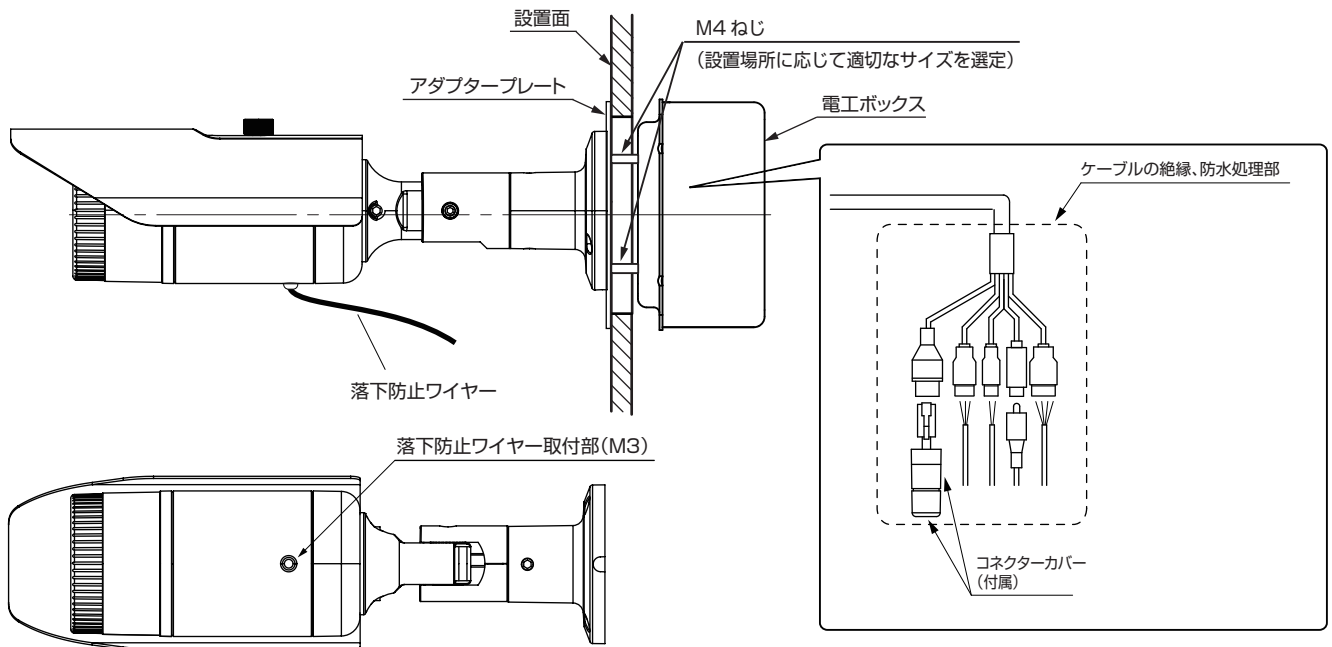


図5 電気ボックス施工例

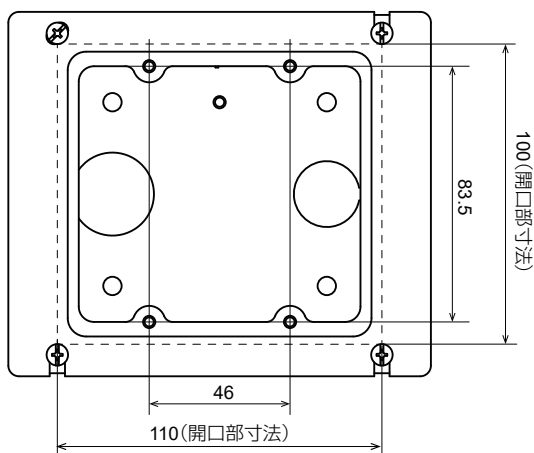


図6 電気ボックスの取付部寸法

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-095-D12-01	-	ハウジング一体型HDネットワークカメラ施工基準書	Sheet 4/4

機種名 VN-H158WPR

表記なき単位: mm

### 注意事項

1. 電工ボックス及び、その取付は、本機総質量の10倍以上の強度を確保していること。  
また、取付けねじの強度は、1本で総質量の10倍に耐えられる材質(ステンレス製)を選択すること。
2. ケーブル類は、確実に防水処理を施すこと。(図5)  
配線部分(図5点線部)は、絶縁テープにて絶縁処理を行うとともに、防水処理を確実にすること。(防水対応ではありません。) また、ケーブル接続部が雨水にて水没しないよう考慮し施工すること。  
防水処理例…自己融着テープを端子接続部分に巻きつける。自己融着テープにより接触不良の恐れがあるので、LANコネクタ部は必ず付属のコネクタカバーを使用し、その上から自己融着テープを巻き付けること。使用しない端子も必ず防水処理をすること。
3. 落下防止ワイヤー(付属していません。ステンレスワイヤー使用)は一方を壁や天井に、もう一方を付属のねじを使用してカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部に接続すること。(図5) 落下を防止するため、本機の質量に十分耐えられる強度(総質量の10倍以上)のある落下防止ワイヤーで天井構造物などに取り付けること。また、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁すること。
4. ケーブル通路を上に向け施工しないこと。
5. 取扱説明書(設置編)に従い、除湿剤(シリカゲル)をカメラ内に取り付けること。
6. 本機と接続するLANコネクタの寸法は全長24mm以下とすること。(図7)  
LANコネクタの寸法が長くなると、防水用のコネクタカバーが取り付けできません。  
(コネクタカバーを使用する場合は、コネクタカバーにLANケーブルを通してから、LANコネクタをかしめる必要があります。)  
指定サイズより大きいLANコネクタを使用する場合は、ビニール袋で養生をする等、防水対策を施すこと。
7. フロントカバーを取り付ける際は、ゴム手袋をしてマーキングラベルが一致するまで強く締め付けること。(図8)
8. 電工ボックスに水が浸水しないよう、防水処理を施すか、水抜き用の孔を設け外部に雨水が排水されるようにすること。
9. カメラ本体は、本書および取扱説明書(設置編)に定める施工が正しく行われ適切な防水処理が施された場合にのみ防水(IP66)性能が維持できます。

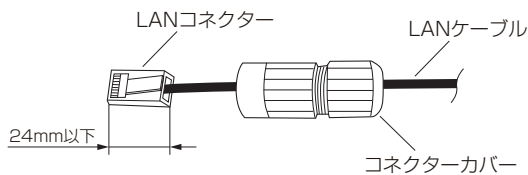


図7 LAN コネクタ寸法

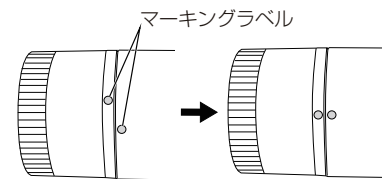


図8 フロントカバー マーキングラベル